

山梨県の広報誌

ふれあい

特集号

秋

vol.62



豊かさを実感! 選ばれる県を目指して
全力で進む長崎県政

- P2 知事先頭に山梨のフルーツをPR! 
- P4 「ワイン県」の歴史と未来
- P6 火山防災対策の強化を目指して など

知事先頭に山梨のフルーツをPR!



モモやブドウが旬を迎える時季に合わせて、県産果実を全国にPRするため長崎知事自らトップセールスを行っています。県では今後も、皆さんに山梨の高品質な果実を選んでいただき、食べてもらえるよう、さらなる認知度向上に努めていきます。

大田市場で市場関係者にアピール

7月8日

東京都中央卸売市場大田市場において、旬を迎えた県産モモの展示や試食会を行いました。また、セリ場では大勢の市場関係者に対し、モモをはじめとした県産果実の魅力をPRしました。試食をした市場関係者からは「甘くておいしい」「とてもみずみずしい」など高い評価を得ました。



ルミネ立川店では 7月8日 一般消費者にプロモーション

九州屋ルミネ立川店では、長崎知事自らが一般消費者にモモを配付してPR



市場関係者にモモを試食してもらい、そのおいしさをPR



安倍首相・菅官房長官を訪問 輸出強化に向けた協力を要請

8月5日



長崎知事はJA山梨中央会の澤井会長、中澤副会長、山梨フルーツレディーらと首相官邸を訪問し、安倍晋三首相に県産の「川中島白桃」と「ピオーネ」シャインマスカット」を贈呈し、県産果実の魅力をPRするとともに輸出強化に向けた協力を要請しました。長崎知事は「山梨県産の果実は他の国ではまねできない芸術品です。これからは海外にも積極的に販売していきたい」と決意を伝えました。モモとブドウを試食した安倍首相は「大変ジューシーでおいしい」と笑顔を見せ、政府としても、県産果実の海外への輸出拡大に向けて、引き続き生産者の後押しができるように取り組んでいきたいとの考えを示しました。

その後、長崎知事は菅義偉官房長官を訪問し、同様に、県産のモモやブドウのPRとともに、県産果実の輸出拡大への支援を要請しました。モモとブドウを試食した菅官房長官からも「とてもおいしい。輸出拡大に向けて応援させていただく」と激励を受けました。



菅官房長官を訪問したときの様子。県産果実の輸出拡大について、活発な議論がなされた



安倍首相から「とてもおいしいモモとブドウですね。輸出拡大に向けて頑張ってください。政府としても応援する」と激励を受け、笑顔を見せる長崎知事



関西方面に向け京都市場でアピール

8月30日

京都市中央卸売市場において、県産ブドウの展示や試食会を行い、関係者に対し、ブドウをはじめとした県



JA山梨中央会の関係者らと共に、セリ場で県産ブドウをPR



「丹精込めて作った農家の思いが詰まっている山梨の宝物を京都の皆さんにも味わってほしいです」とPRする長崎知事

産果実の魅力をPRしました。また、「今後も、より一層おいしい県産果実を皆さんに味わっていただけるよう、県としても引き続き生産者と協力して、頑張っていきたい」と意気込みを語りました。

①スマートフォンまたはタブレットに「aug!」のARアプリをダウンロード(無料)②アプリを起動③右の写真にかざすと、自動的に動画が再生されます。



動画で見よう! 県産果実のトップセールス

「ワイン県」の歴史と未来

日本ワイン発祥の地・山梨。現在、山梨ワインは、日本ワイン生産量の約3割を占め、ワインは山梨の代名詞となっています。その歴史は古く、先人たちの努力と思いが積み重なり、本県の豊かな風土に根付いて発展してきました。県では、このほど山梨を改めて日本一のワイン産地としてアピールするとともに、これをきっかけに、周遊観光の促進や地域産業の活性化を図っていくため、「山梨『ワイン県』宣言」を行いました。



山梨「ワイン県」宣言！

国産ブドウだけで造られた日本ワインの生産量、ワイナリー数が日本一を誇る本県には、明治時代から約150年続くワイン造りの歴史と伝統があります。特に本県特産で日本固有のブドウ品種「甲州」から造られる甲州ワインの品質の良さは、世界的にも高い評価を受け、本県は世界の銘醸地と並ぶワイン産地として認められつつあります。また県では、ワインセンターや果樹試験場でワイン製造の研究や支援を行ったり、技術や人材育成において山梨大学と連携したりするなど、ワイン業界の発展に寄与しています。

ワインのさらなる発展を図るため、8月7日に長崎知事は「山梨『ワイン県』宣言」を行いました。この宣言が、観光客の皆さんに山梨という地を選んで足を運んでいただくきっかけとなり、ワインだけでなく他の県産酒と一緒に山梨の食を味わったり、伝統工芸品などを手に取ったりしていただく機会が増え、地域産業などの活性化につながっていくことに大きな期待が寄せられています。

「ワイン県」宣言を行う長崎知事

令和という新しい時代が始まり、日本ワインが世界から注目されている今、改めて山梨こそが名実ともに日本一のワイン産地であることを広くアピールし、山梨



「ワイン県知事」の名刺でPRする長崎知事



日本ワイン発祥地の財産

国の文化審議会が、甲州市勝沼町にある老舗ワイナリー3社が所有する6件の建造物を、国の登録有形文化財とするよう、7月に文部科学大臣に答申しました。養蚕農家の特徴である切り妻造りの民家を生かしたこれらの建造物は、ワイン醸造の古い歴史を有するこの地域ならではのものです。こうした歴史的景観を構成する貴重な建造物や、守られてきた文化、ワインを愛した先人たちの思いが、このほど行った「ワイン県」宣言の礎となっています。

当ワイナリーは昭和12年に、祖父が製糸業を営む傍らワイン醸造に着手したことから始まりました。社屋は製糸業を始めるときに祖父が購入したもので、主屋兼事務所は明治後期に、樽貯蔵庫は昭和24年ごろに建築されたものです。ワイン醸造は養蚕業が衰退していく時代の中、明治政府の殖産興業政策により始まりました。戦時中はワイナリーにとって厳しい時代でしたが、ワイ

ンに含まれる酒石酸が潜水艦のソナーの原料となると分かり、酒石酸採取のためのワイン醸造が軍の要請により行われたことも、ワイン造りが存続してきた理由の一つです。

今回、勝沼地域の老舗ワイナリーのワイン醸造施設6件が、国の登録有形文化財へ答申されたことは、とても光栄なことです。今や全国各地でワインが造られるようになり、洋風のワイナリー

が増えています。私たちが先人たちの遺産である和風のワイナリーを地域全体で継承していきたいです。今後は伝統を受け継ぎながらも、国内外からの観光客を迎えるホスピタリティーを向上させるなど、ワイナリーが新たに発展できる方法を探っていきたいと考えています。

県民の皆さんも「ワイン県民」として、山梨ワインの魅力をお客様に伝えてほしいと思います。



勝沼ワイン協会 会長
(勝沼醸造株式会社 代表取締役)
有賀 雄二 さん

登録有形文化財となる建造物

	建造物	建築年代
勝沼醸造	主屋兼事務所	明治後期
	樽貯蔵庫	昭和24年ごろ
丸藤葡萄酒工業	旧醸造蔵	明治前期
	瓶貯蔵庫	昭和33年
くらむぼんワイン	旧主屋	明治後期
	ワインセラー	明治後期



勝沼醸造 (主屋兼事務所)



勝沼醸造 (樽貯蔵庫)



丸藤葡萄酒工業 (瓶貯蔵庫)



くらむぼんワイン (旧主屋)

日本ワインコンクールで 県産ワイン8点が金賞に輝く

日本ワインコンクールは、国産ドウのみを原料として国内で造られた日本ワインの品質と認知度の向上、また個性や地位を高めることを目的に、毎年開催されています。

「日本ワインコンクール2019」には全国のワイナリーから788点のワインが出品され、金賞に輝いた21点のうち8点を、山梨県内で醸造されたワインが占めました。

審査委員長からは「日本ワイン全体で品質が高まっている。さらなる日本ワインの品質向上を目指し、山梨県にはリーダーとして頑張してほしい」との評価をいただきました。



【問い合わせ先】

ワイン県については
登録有形文化財については
日本ワインコンクールについては

観光プロモーション課
学術文化財課
地域産業振興課

TEL 055-223-8876 FAX 055-223-1438
TEL 055-223-1792 FAX 055-223-1793
TEL 055-223-8871 FAX 055-223-1534



火山防災対策の強化を目指して

近年、日本全国で火山活動が活発化しています。ひとたび大規模な噴火が起ると、溶岩流や降灰の影響で交通やライフラインが停止するなど、生活や経済活動に大きな支障が出る恐れがあります。そこで県では、火山噴火災害の恐れがある都道県と連携し「火山防災強化推進都道県連盟」を設立し、火山防災対策の強化に向けてさまざまな取り組みを行っています。



火山防災強化推進都道県連盟 設立と始動

この連盟は、活火山周辺の「火山災害警戒地域」に指定されている23都道県が連携し、国に防災対策の強化を働き掛け、広域的な火山防災対策を進めていくため、富士山を擁する山梨県の知事として、長崎知事が発足を呼び掛け、設立が実現しました。

7月23日に富山市で開かれた設立会議では「火山の監視・調査研究体制の強化」「噴火ハザードマップなどの作成に対する財政的、技術的支援の拡充」「ハード・ソフト両面にわたる計画的な事前防災対策の実施」「外国人観光客などへの効果的な情報発信体制の整備、最新の科学技術を活用した研究の推進」について、国に対し、財政負担と法制度の整備を求めることを決議。これを受け、8月28日には「自由民主党火山噴火予知・対策推進議員連盟」に



自由民主党火山噴火予知・対策推進議員連盟の古屋圭司会長(左から2人目)に要望書を手渡す長崎知事

対し、要請活動を行いました。都道県の垣根を越えて火山防災対策を進める連盟の設立は、全国初の取り組みです。今後も、国と地方が一体となつて火山防災対策を強化していきます。



噴火を想定した避難訓練で 課題の改善へ

富士山噴火の危険性が高まった事態を想定した広域避難訓練を10月12日に実施します。この訓練は「富士山火山広域避難計画」に基づき、県と富士山周辺の8市町村が連携し、噴火や噴火活動が予期されたときに即座に対応できる体制を確立することを目的としています。また、訓練の実効性を検証して、課題の抽出や避難計画の定着と改善にもつなげていきます。昨年の訓練では、高齢者や入院患者など、



昨年の訓練(避難行動要支援者の自衛隊車両への搬送)

今年度の訓練には二つの大きなポイントがあります。一つは実動機関である県や市町村、警察、消防、自衛隊などの連携の確認です。同日にDMAT(災害派遣医療チーム)中部ブロックの訓練が本県で開催されるため、連携して訓練を行う予定です。もう一つは避難行動の「見える化」です。避難に要する時間を計測し、分析することにより、円滑な避難のための対策を検討していきます。

噴火はいつ起こるか分かりません。県民の皆さんには、いざというときに適切な行動が取れるよう、日ごろからハザードマップや避難計画の確認をするなど準備をお願いします。



防災危機管理課
新津 和樹 主任

避難に支援を要する方々を避難対象エリアから速やかに脱出させるための人員や搬送車両の確保が課題として挙がりました。今回の訓練で、こうした課題の改善を図り、実際の避難に生かしていきます。



噴火による土砂災害対策を強化 富士山北麓火山防災ステーション開設

国土交通省富士砂防事務所では、昨年度から、降雨による土砂災害に加え、富士山の噴火による土砂災害対策に着手し、山梨県側も事業エリアとなりました。これに伴い、今年4月、山梨県側の新たな拠点として、富士河口湖町に当ステーションを開設し、防災対策業務に当たっています。具体的には、土石流をせき止めるためのブロックの製作・備蓄や砂防施設の整備、監視機器の設置による防災監視体制の強化、市町村が避難勧告や避難指示を出す際の参考となる情報の提供などが主な業務です。

噴火への対策というと、避難シミュレーションの整備などをイメージしがちですが、火山砂防では、火山灰が降った後に雨が降ることで発生する土石流などをせき止めることが主となります。しかし、こういったハード面の対策は限



国土交通省 富士砂防事務所
富士山北麓火山防災ステーション 所長
小島 慎也さん



平常時から富士山や溪流の状況を監視



ブロックの備蓄

界があり、あくまでも避難するまでの時間を確保するものであって、避難する必要がなくなるわけではありません。今後も、万一の災害に備え、日ごろから周辺自治体や関係機関との連携を深め、県とも協力しながら、富士山の火山防災対策に取り組んでいきたいと思っています。

山梨県への移住・就職相談窓口を拡充



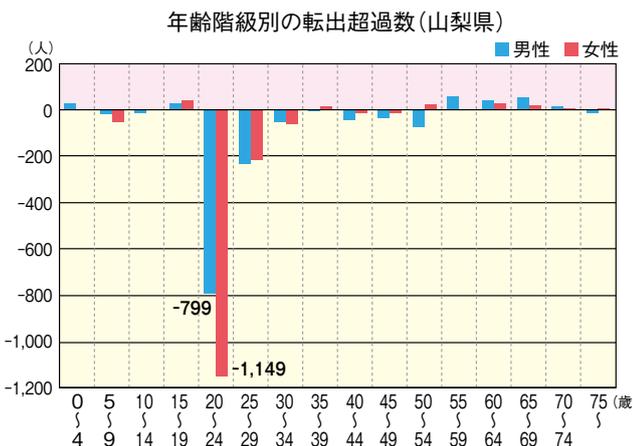
県では、若年層の定住人口確保を図るため、移住や地方での就職を考えている方に本県を選んでいただけるよう、相談窓口を拡充しました。東京・有楽町にある「やまなし暮らし暮らし支援センター」に加え、8月には東京・大手町に「ふるさとUイターン就職支援センター」を開設。さらに10月には甲府市に「ふるさと山梨定住機構」を開設し、3拠点体制となります。



山梨の未来を担う若年層のUイターン促進に向けて

人口減少とこれに伴う地域活力の低下が問題となる中、県ではオール山梨でさまざまな人口対策に取り組んでいます。人口減少に歯止めをかけるためには、人口減少の大きな要因となっている就職期の若年層の転出超過を解消することが必要です。そこで、8月には新たに東京・大手町に「やまなしUイターン就職支援センター」を開設し、東京圏に住む学生や転職者を対象とした、県内企業へのUイターン就職に関する相談体制を強化しました。これにより、東京・有楽町の「やまなし暮らし支援センター」と合わせ、都内で週7日、相談を受けることができ、移住・就職に向けた東京圏での支援の充実を図りました。さらに10月には、甲府市に「ふるさと山梨定住機構」を開設し、山梨でも移住やUイターン就職に関する情報提供

や移住後の支援などを行います。特に、就職期を迎えている方や山梨に住むご家族の皆さんにこれらの相談窓口を周知し、若年層の県内定着を図っていきます。

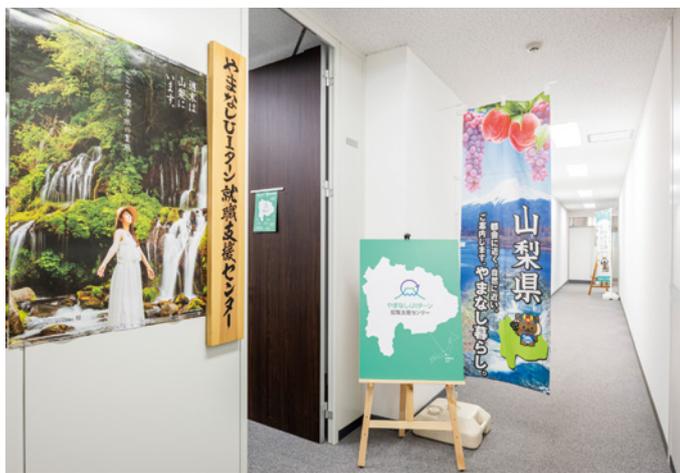




やまなしUIターン就職支援センター開設

当センターは、東京駅日本橋口正面というアクセスの良い場所にあり、就職・転職についてのカウンセリングや情報提供などを行っています。

私は、キャリアカウンセラーとして、新卒でも中途採用でも、それぞれの就職に合ったエントリーシートや履歴書の作成サポートを行ったり、相談者の職業適性を丁寧に検討したりしています。また、相談者が山梨に定住するのに必要と思われる情報を率先して提供することなどを心掛けています。予約制に



やまなしUIターン就職支援センター



やまなしUIターン就職支援センター
ジョブコーディネーター
山田 すが子さん

よるマンツーマンのカウンセリングを行いますので、迷っていること、不安なことなど何でも相談してください。まだ具体的な希望がなく、漠然とした段階でも大丈夫です。どんな仕事をしたいか、どんな暮らしをしたいかを一緒に考え、探していききたいと考えています。

山梨には、IT関連産業などで、一般には認知度が高くなるとも、その分野では世界的に優れた技術を持ち、特に技術系の求職者にとって魅力のある優良企業が多くあります。そういった企業を紹介するためにも、今後は山梨の企業を招いたセミナーの開催や、SNSなどを活用した情報発信も進めていく予定です。

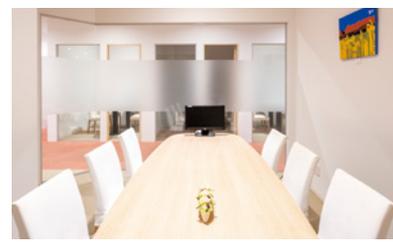
また、センターが入居しているビル内には、県のマッチングサイトに求人を出した県内企業が、都内の求職者との面談に活用できる個室相談スペースや説明会を開催できる大会議室などもあ

やまなし暮らし支援センター

山梨に移住したい方、山梨で働きたい方を対象に、移住相談員1名、就職相談員1名が相談に対応します。

住所：東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階
NPOふるさと回帰支援センター内
利用時間：午前10時～午後6時(水曜日～日曜日 ※祝日を除く)
TEL：03-6273-4306 電子メール：yamanashi-UIj@pref.yamanashi.lg.jp

[やまなし暮らし](#) [検索](#)



個室相談スペース

ります。個室相談スペースは、県を通じ無料で使用することができまので、ぜひ活用していただきたいと思ひます。やまなしUIターン就職支援センターは、若者世代の皆さんの希望を具体化していきまます。お気軽にご相談ください。

やまなしUIターン就職支援センター

住所：東京都千代田区大手町2-6-2 パナグループ JOB HUB SQUARE3階
地方創生ラウンジ内
利用時間：午前11時～午後7時(月曜日～土曜日 ※土曜日は第2・第4土曜日のみ)
TEL：03-6734-1092 電子メール：yamanashi-UI@pasona.co.jp



パナグループ JOB HUB SQUARE



地方創生ラウンジのエンタランス

ふるさと山梨定住機構

令和元年10月15日オープン

山梨に移住したい方はもちろん、移住した方の定住を支援し、県内高校生などに山梨で働く魅力を伝えるため、コーディネーター2名が地域や仕事の情報を提供します。

住所：甲府市飯田1-1-20 山梨県JA会館5階 ※やまなし・しごと・プラザ隣接
利用時間：午前9時30分～午後6時(月曜日～金曜日 ※祝日を除く)
午後1時～6時(土曜日 ※祝日を除く)

外国人材の受け入れと共生を目指して



御師の家で行われたやまなし文化体験(左上) 留学生合同就職面接会(右上)
やまなし国際フェスタでのベトナム民族舞踊(左下) 県内企業で溶接技術を習得する外国人従業員(右下)

県では、外国人材の受け入れと共生を進めるため、今年4月、外国人材受入支援課を新設しました。7月には、全国に先駆け、官民の連携による「やまなし外国人材受入・共生ネットワーク会議」を立ち上げ、現状と課題の共有や、今後の方策についての意見交換を行っています。

また、留学生と企業のマッチングを図るため、合同就職面接会を開催。特に人手不足が深刻な中小企業が、人材の確保に向け、自社の事業内容をアピールする絶好の機会となっています。さらに、8月には、外国人からのさまざまな相談に多言語で応じる「やまなし外国人相談センター」、9月には、企業の外国人材受け入れを支援する「山梨県外国人材企業相談センター」を開設しました。



外国人材の受け入れに向けた取り組みが始動

県内企業の人手不足が深刻化する中、新たな在留資格制度が今年4月にスタートし、外国人材の活躍に期待が集まっています。そこで県では、企業への支援などに着目した「外国人材の受け入れ促進」と、外国人が生活しやすい環境づくりに向けた「外国人との共生推進」を2本の柱に据えて、「外国人に選ばれる県」の実現のため、さまざまな取り組みを行っています。

外国人材の受け入れ促進・外国人との共生推進

深刻化する県内企業の人手不足に対応するための体制を整備

外国人材の受け入れ促進

- 企業への総合的な支援
- 宿泊業など個別分野への支援
- 外国人留学生の県内就職促進

外国人との共生推進

- 外国人の生活相談体制整備
- 生活サービスの向上
- 日本語教育の充実

連携体制の構築

- 官民の関係機関の連携体制を構築
外国人材受入・共生ネットワーク会議

日本人と外国人が共に理解し合い、安心して暮らせる環境づくりを県全体で進めることにより、さらなる地域の活性化を図っていきます。

やまなし外国人相談センター開設

8月1日にオープンした当センターでは、日本人と外国人のスタッフが常駐し、県内で生活する外国人からの相談を受け付けています。在留資格や就労環境といった、それぞれの相談内容を踏まえて関係機関を紹介するなど、解決に向けたサポートをしています。

国による慣習の違いや、異国の地で暮らす人の気持ちを理解して、相談者に寄り添えるよう外国人スタッフも頑張っています。私もコーディネーターという役割を果たせるよう、市町村との



フオン・ドヒョンさん

私は1年前に韓国から日本にきました。日本に来た外国人は、文化の違いや日本語が分からないことへの不安を感じる人が多いと思います。私たち外国人スタッフは、山梨で暮らす外国人の皆さんの相談に親身になって対応します。一緒に悩みを解決しましょう。

やまなし外国人相談センター

Let's solve the problem together

県内に住む外国人の皆さんのさまざまな疑問や悩みに対して、情報提供や相談を行う窓口です。英語、中国語、韓国語など多言語で対応しますので周りの外国人の方にお知らせください。

場所：甲府市飯田2-2-3 国際交流センター内
 利用時間：午前9時～午後4時
 火曜日～土曜日(祝日・年末年始を除く)
 TEL: 055-222-3390

外国語が対応できない言語の場合でも、通訳サービスに電話をしながら、三者で話をするなど、多言語に対応できる仕組みもありますので、どうぞ、お気軽にご相談ください。



やまなし外国人相談センター
コーディネーター
相原 繁博さん

連携をはじめ、幅広くネットワークを構築し、円滑な対応ができる環境を整えていきたいと思っています。

県内企業での外国人材の活躍

山梨で暮らす外国人の増加に伴い、スマートフォンを購入を希望するお客さまも増え、日本語が分からないために機種選びや契約ができず、苦労される場面が多く見られるようになりました。当社では、8年前から外国人の採用を始め、最近では、4年連続で新卒者を採用しています。外国人スタッフを店頭で配置し、言葉の心配がないことをPRすることで、訪れてくれるお客さまが増えました。受け入れに当たっ



マイ・ティ・フォン・ズンさん

私は今年4月から正社員として採用され、県内の携帯電話ショップで働く初めてのベトナム人となりました。現在はベトナム語と英語の語学力を生かして、店頭で通訳、翻訳業務を行っています。私も日本に来たばかりの頃、スマートフォンを購入するのに、説明が理解できず困った経験があります。ですから、そういう外国人の役に立ちたいと思い、この仕事に就きました。

山梨に来て以来、多くの皆さんに支えてもらうことで、安心して生活しています。これからも、大好きな山梨で、働き、暮らしていきたいです。



フォネットグループ
人事部 課長補佐
伊藤 高子さん

では、入社前から住まい探しや引越などサポートして、入社後、安心して仕事に取り組める環境を整えています。

県が開催している合同就職面接会にも参加しましたが、企業と留学生が出会い、理解を深める場として、とても有効だと感じました。行政が積極的に外国人材の受け入れと、そのサポートに取り組んでいることは企業にとっても大変心強いことです。

山梨県外国人材 企業相談センター

県内企業からの外国人材の雇用に関するさまざまな相談に応じる窓口です。電話や来所による相談のほか、出張相談も行います。

場所：甲府市大津町2130-2
 中小企業人材開発センター内
 利用時間：午前9時～午後5時
 (受付は午後4時30分まで)
 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)
 TEL: 055-225-5605



TOKYO 2020
OLYMPIC GAMES



TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

HOST VENUE

TOKYO 2020
オリンピック
自転車競技山梨県開催
オリンピックロードレース

男子 2020年7月25日(土) 女子 26日(日)

オリンピック開催まで パラリンピック開催まで

297日 329日

(令和元年10月1日現在)



東京2020オリンピック・パラリンピック 成功に向けて機運を醸成

オリンピック・パラリンピックに関連した さまざまなイベントを開催

東京2020オリンピック自転車ロードレースに向けて、大会運営などの能力向上を目的としたテストイベントを開催しました。実際のコースを本番さながらに走る選手たちに加え、応援する観客や運営をサポートするボランティアのおかげで会場は大いに盛り上がりました。また、イオンモール甲府昭和では、1年前記念イベントを開催。さらに、YCC県民文化ホールでは、スポーツだけでなく文化的な交流も図るため、フランスのパリ・オペラ座バレエ団のダンサーを招いた特別公演を実施しました。公演では、郡内織物を用いた衣装が使われ、産業振興にも貢献しました。開幕まで1年を切った東京2020大会の成功に向け、県内各地で機運が高まっています。



7月21日のテストイベントでは、実際のコースである道志みち(上)や三国峠(下)なども走行



パリ・オペラ座のダンサーによる特別公演
8月11日に行われた公演は、フランス代表チームが県内で事前合宿することが縁となり企画された。公演では、郡内織物を用いた衣装をまとったパリ・オペラ座のダンサーが華麗な舞踏を披露



東京2020大会に向けた1年前記念イベント 山梨ステージ

7月27日に開催した1年前記念イベント。東京2020オリンピック・パラリンピックマスコットのミライトワとソメイティのステージや自転車ロードレース、パラリンピック競技種目のポッチャなどの体験コーナーに多くの人が足を運んだ



地元開催のオリンピックに貢献し 次世代につなぎたい

県立吉田高等学校2年 天野 さくらさん

私は山中湖畔に住んでいるので、地元でオリンピックが開催されることをとても光栄だと感じています。テストイベントでは、世界的なアスリートが目の前を走り抜ける迫力に本当に感動しました。ボランティアには女子バスケット部のメンバーと一緒に参加し、一生懸命活動する中で、オリンピックというのは選手はもちろん、大会を支える裏方の皆さんの協力もあって成り立っていることを実感しました。来年のオリンピックでは、特に外国人の方々積極的にコミュニケーションを取り、富士山などの豊かな自然や、とても明るい地元の人々の魅力を伝えていきたいです。そしてオリンピックでの素晴らしい経験を次世代にも語り継いでいこうと思います。

自転車ロードレースのテストイベントでは、多くのボランティアが活躍しました。県立吉田高等学校からも、多くの生徒たちが会場に向いて観客の誘導やコーンの設置などを行い、コース周辺の競技運営のサポートに当たりました。ボランティアを通して、自分たちが生まれ育った地でオリンピックが開催されることに誇りを持ち、自分たちにできることを考え、地域に貢献しようとする生徒たち。若い力の活躍が、オリンピック成功に向け、地域に活力を与えています。



山中湖畔を疾走する選手と応援する観客



ボランティアの協力もあり、イベントは円滑に進行した

ボランティアとして活躍する若い力

機運醸成や観光振興へのつなぎ役 道志みちサイクルサポートステーション

道志みちサイクルサポートステーションは、道志村が東京2020オリンピック自転車ロードレースのコースの一部となったことから、村民の機運醸成や観光振興、オリンピックレガシーにつなげることを目的に設置されました。現在、この活動に賛同した飲食店や商店など37のサポートステーションで、駐輪場や休憩場所の提供、自転車用工具や空気入れの貸し出しなどの「おもてなし」が行われています。



手作りのおもてなしで サイクリストを応援 おばあ台所

サイクルサポートステーションの一つである、おばあ台所は3年ほど前に道志村が大好きな女性たちが集まって始めたお店で、県内外の20名以上の方が協力して運営しています。以前からサイクリストに冷たいお茶や水を提供するおもてなしをしていましたが、村のサポートを受けて駐輪用のサイクルラックを設置するなど、より一層充実したサービスを提供できるようになりました。店内には手作りのジャムやドレッシングなど、心がほっこりする品々を置いています。大会後もサイクリストや観光で訪れた方にとって、道志村の豊かな自然の中でゆったりと過ごしてもらえ、居心地の良い空間の提供を目指しています。



PR動画配信中!
競技の魅力や見どころ
コース概要などを紹介



県民の日記念行事

みんなで東京2020大会を 盛り上げよう! in 山梨

オリンピック・パラリンピックに関連したステージショーや体験・展示コーナーなどを楽しめます。ぜひご参加ください。

- 富士吉田会場
10月5日(土)午前9時30分～午後3時
富士山パーキング(富士吉田市)
- 小瀬会場
11月16日(土)、17日(日)午前10時～午後3時30分
小瀬スポーツ公園(甲府市)

障害を乗り越えてパラリンピックへの情熱



パラ馬術は障害の重さで5つのグレードがある。重い方から2番目のグレード2の井上さんが挑む競技は、20m×40mの馬場で、規定のコースを正確に、馬が自然に動いているように回ることが求められる。人がコントロールしているように見せず、いかに馬本来の美しい姿を見せるかが大切だという



激励のため、クローバー牧場を訪れた長崎知事と、井上さん(下)、志村オーナー(上)

パラリンピックは、さまざまな障害のある選手がそれぞれの個性や能力を発揮して世界を舞台に活躍する場であり、誰もが相互に尊重し、支え合い、認め合える社会づくりに大きな影響を与えている大会です。ここでは本県を練習の拠点としてパラリンピックを目標に日々頑張るパラアスリートや、その活動を支えるの方々を紹介します。

山中湖村からパラリンピック出場に挑む

20代前半のときに四肢の感覚や筋力の低下が進行する難病を発症し、リハビリとセラピーを兼ねて乗馬を始めた井上力さん。県内の乗馬クラブに通う中で、山中湖村にあるクローバー牧場のオーナー・志村裕行さんと出会いました。そこから二人と牧場スタッフが一丸となり、東京パラリンピック代表を目指す挑戦が始まりました。

「馬に降り降りしやすい設備など、万全なサポート体制を速やかに整えてくれた志村オーナーの行動力に感動しました。相性の良い馬とも出会い、選手として競技力が向上している自覚があります。オーナーと馬と一緒にもっと高みを目指したいです」という井上さん。現在は愛馬のプリンセスクラリスと東京パラリンピック代表選考会に向け、練習を重ねています。

志村オーナーは「井上さんと知り会ったことで、私も馬術競技に出会いました。井上さんがいるから今の牧場があるんです。パラリンピック代表になる夢を叶えて、関わるみんなが幸せになれるよう、支えていきたいですね。競技を通して、馬も人も成長していると感じます」と笑顔で話してくれました。



パラ馬術選手 井上力さん

「乗馬と出会い、目標を持つことで自分の可能性を感じることができました。後継者育成のためにも、私が頑張る姿を見せたいです」と語る井上さん



クローバー牧場 オーナー 志村 裕行さん

「ここでは馬を通して学校教育とは違った学びの場を子どもたちに提供しています。気軽に馬に触れ合いに来てほしいですね」と語る志村さん

パラクライミングで世界の頂点を目指す

生まれつき左手に軽度のまひがある吉田桃子さんは、平成28年に趣味でクライミングを始めました。その楽しさに魅了され、パラクライミングという競技を始めから、世界を舞台に活躍する選手となり、昨年に引き続き今年の世界選手権でも準優勝に輝きました。主に富士吉田市にあるクライミングジムを拠点に練習に励み、世界の頂点を目指しています。

「クライミングは筋力が必要と思われるがちですが、実は頭を使うことが大事なスポーツです。障害があるので、技術が身に付くまで失敗の回数は多いですが、



パラクライミング競技は、制限時間内にどこまで高く登れるかを競う。「競技と出会い、自分と同じ境遇の選手たちが登る姿に触発され、技術を高めたくて没頭したんです」と吉田さん



パラクライマー 吉田 桃子さん

その分得るものがたくさんあります。自分の持つ力でどう解決できるか、考える幅を広げるのが醍醐味です。

私は会社からのサポートを受け、クライミングジムのスタッフや仲間たちに支えられて、練習や競技に打ち込むことができています。パラ

クライミングの国内での認知度は低いので、私が積極的に健常者の大会に出場することで、同じ境遇の人たちに競技を知ってもらいたいと考えています。そして、いずれはパラリンピックの正式種目に採用されることを願って、競技の普及にも努めていきたいです」と熱い思いを語ってくれました。

障害者のスポーツへの意欲を支える

スポーツは健康維持・増進や精神面の強化、また生きがいや楽しみの発見のためにも欠かせません。県内には、障害のある人がスポーツを気軽に始められるよう支援する、障害者スポーツ指導員がいます。山梨県障害者スポーツ協会の会長で、指導員を務める奈良さんは、障害者スポーツの普及を進めています。

「山梨県には現在、障害者スポーツ指導員が初級、中級を合わせて約130人います。県内における障害者スポーツ大会の開催や国体への引率のほか、施設を訪問して各種スポーツを障害者に体験してもらうなど、障害者スポーツの裾野を広げる活動にも力を入れていきます。近年では指導員初級を取得する大学生も増えていることから、指導員向けのフォローアップも行いながら、多くの障害者が生涯、スポーツを楽しめる環境をつくっていきたくと考えています。県内でも車いすバスケット、卓球、陸



山梨県障害者スポーツ協会

会長 奈良 妙子さん

「パラリンピックの正式種目であるボッチャは重度障害者でも取り組みやすいんですよ」と用具を手に競技の魅力を語る奈良さん

観戦するなど、興味を持つしてほしいです。私たち指導員も一人一人に寄り添いながら、スポーツの素晴らしさを広めていきます」と優しく話してくれました。



全国障害者スポーツ大会で山梨県選手団を引率する奈良さん

しかし障害者がスポーツをする環境が整っていないなど、障害者スポーツの普及には多くの課題があります。県民の皆さんにはもつと障害者スポーツを

上競技など、さまざまな種目で頑張っている人たちがいます。スポーツを通して社会と関わり、皆さんが生き生きと自立していく姿に、私も力を与えてもらっている日々です。



[シュン!]

瞬

やまなしの

vol.
22

若い世代に農業の魅力を伝え
山梨の農業を未来につなげたい

未来農業 Short Legs Group
加賀見 進さん



フルーツ王国山梨の魅力を発信するため、都内のデパートで親子向けの食育イベントを開催



果樹産地を盛り上げようと、農業関係者の交流イベント「山梨ファーマーズフォーラム」を開催

株式会社プレイストジャパン／未来農業 Short Legs Group
山梨市三ヶ所82 TEL 080-5510-7496(担当:長谷部)

山梨ショートレッグス



年間約7万個のモモを出荷している加賀見さんは「おいしいものを食べると、思わず笑顔になりますよね。だからイベントなどで接する子どもたちには『おじさんは毎年7万人を笑顔にしているんだよ。モモ農家ってすごいだろ?君もなりなよ』と誘っています」と言います

山梨の農業を未来につなげていくことを目指し、県内で果樹農家を営む長谷部野歩さん(左)、雨宮幸生起さん(右)と共にグループを結成

26歳で始めたモモ農家 お客さんの笑顔が大きな転機に

山梨市のモモ農家に生まれた加賀見進さん。子どもの頃から当たり前のように手伝いをしてきましたが、心の中では「暑いし、かゆいし、格好悪い。絶対に継がないぞ」と思っていたそうです。高校を卒業後、県外で働いていた加賀見さんは、父親が高齢になったこともあり、26歳の時にUターンし、専業農家になりました。「周りを見たら高齢者ばかり。腰の曲がったおじいちゃんも元気に頑張っています。若い自分ならその3倍は働けると思い、頑張ったら頑張っただけ稼げると意気込んで始めたんですが、現実には甘くなかったですね」

葛藤を抱えながらも懸命にモモの栽培に励んでいた加賀見さんは、3年前、知人からの誘いで、高知県の農産物直売所でモモを直販する機会を得ます。「同年代の農家と、ワゴン車に60コンテナのモモを積み込んで行ったのですが、とにかく面白かったです。連日たくさんのお客さんが来てくれて『こんなにおいしいモモを食べたのは初めて』と笑顔で言ってもらい、モモ農家をやっていて良かったと心から思いました」このことが加賀見さんにとって大きな分岐点になったとい

ユニークな視点と斬新な発想で 農業の魅力を伝える

その後、一層モモの栽培に打ち込むようになった加賀見さんは、若手果樹農家グループ「未来農業 Short Legs Group (ショート・レッグスグループ)」を結成。農家の高齢化に伴って年々増えている耕作放棄地を減らすため、今やるべきなのは、若い世代に農業の魅力を伝えていくことだと考えた加賀見さんたちは、農業に対するイメージを覆すようなユニークな動画を公開したり、県内外の小学校や都内のデパートで食育イベントを開催したり、さまざまな活動を続けてきました。生のモモを宇宙へ持つという「スペースピッチプロジェクト」や、県内外の大学と連携して、学生が耕作放棄地で果樹栽培などを行うことで地域活性化に取り組む「ハタチの畑プロジェクト」もスタートしています。

「農業で生活していけることを若者に示せるよう、労力を減らして耕作面積を増やし、収益を上げるビジネスモデル『省エネ栽培』にも取り組んでいます。農業をこれからの時代に合った魅力ある職業にしていきたいんです」と加賀見さん。今年2月には株式会社プレイストジャパンを仲間と共に設立し、グループの活動の幅を広げるなど、これからの活躍にますます期待が高まります。

歌い継がれている童謡「花かげ」の作詞者

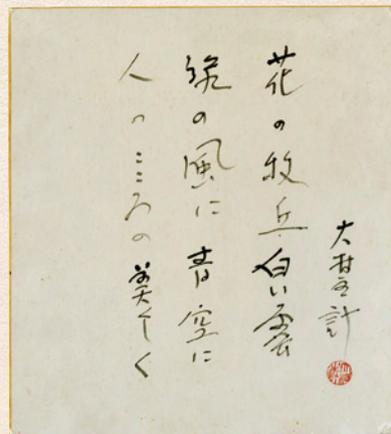
大村主計

1904-
1980



(個人蔵)

「十五夜お月さまひとりぼち」の歌い出しで親しまれる童謡「花かげ」を作詞し、著作権の啓蒙にも功績を残した大村主計。生涯を通じて200篇以上の詩や童謡、校歌を作り、今も多くの人々に歌い継がれている。



故郷の山梨市牧丘町を歌った散文詩の色紙(個人蔵)



童謡「花かげ」が題材となった切手(個人蔵)



主計と姉・はるゑ(右)(個人蔵)

小学校の教員を経て大学へ

大村主計は、1904(明治37)年、大村金五郎の次男として、東山梨郡諏訪村(現・山梨市)に生まれた。大村家は代々農業を営む傍ら、宿屋を兼業しており、旅回りの役者の定宿になっていた。山間部の農家としては比較的豊かだった。母が病弱だったこともあり、主計は祖母に溺愛されて育った。仲が良い11歳上の兄と3歳上の姉がいたが、とりわけ姉・はるゑとは仲がとでも良く、一緒に遊んだり、宿題をしたりした。時には汽車を見に塩山へ出掛けることもあった。

主計は、諏訪村の柚口尋常小学校、室伏高等小学校を卒業後、山梨県立都留臨時教員養成所で学び、1921(大正10)年に小立村(現・富士河口湖町)の小立尋常高等小学校の教員となった。しかし、文学に志を立てた主計は、2年で退職し、東洋大学専門部倫理学東洋文学科に進んだ。

中央詩壇で活躍 代表作「花かげ」の誕生

東京での主計は、北原白秋と並んで大正期を代表する童謡詩人と称された西條八十の門下生となり、サトウハ

チロー、林芙美子、菊田一夫ら文壇人と交友を結ぶなど、中央詩壇で活動を広げた。また『山梨日日新聞』が毎週特集するサンデー文壇に次々と作品を投稿するなど、詩や童謡を精力的に創作し、雑誌の編集にも携わるようになった。

主計が作詞した童謡「絵日傘」がレコード化されることになった。この時、裏面を埋める曲がないということで、急ぎよ一晚で書き上げたのが、仲の良



甲州市・向嶽寺にある「花かげの碑」(右)、左は師事した西條八十の歌碑

かった姉・はるゑの嫁入りをつづった童謡「花かげ」である。

作曲家の豊田義一が曲を付け、レコードが1932(昭和7)年に発売されると、空前の大ヒットとなり、主計の童謡詩人としての地位を確たるものへと押し上げた。それ以降「さるかにかっせん」「ねぎぼうず」など、数多くの作品がレコード化されることとなった。

各分野で発揮された 豊かな才能

「花かげ」など30作品を収めた『ばあやのお里』、そして『麦笛』という2冊の童謡集の出版をはじめ、童話や児童劇などを次々と創作、発表した主計は、1939(昭和14)年には雑誌『詩と美術』の編集兼発行人を務めるようになり、美術批評の面でもその才能を発揮した。その翌年には、テイチクレ

コードに文芸部嘱託として入社。36歳にして初めて勤め人となり、戦時中「大東亜戦史」や「日本わらべうた」などを制作した。戦後は、東京タイムズ社創立に参画し、ジャーナリストとして奔走する傍ら専務取締役などの要職を歴任した。

1948(昭和23)年からは、日本音楽著作権協会理事として、当時皆無だった著作権という概念の普及と啓蒙にまい進した。また、晩年に至るまで、山梨出身の文化人団体「山人会」の理事長をはじめ、さまざまな団体の役員も務めた。一方で創作意欲は衰えることなく、晩年は県内10校の校歌を作詞し、コマーシャルソングの草分け的な仕事も担った。

豊かな才能を存分に発揮し、多大なる功績を残した主計は、1980(昭和55)年、75歳の生涯を閉じた。



山梨近代人物館

山梨県庁舎別館2階(甲府市丸の内1-6-1)

第10回展示「近代文学に足跡を残した人々
—県立文学館開館30周年—」

期 間：10月1日～令和2年3月28日

開館時間：午前9時～午後5時

休 館 日：第2・4火曜日/12月29日～1月3日

入 館 料：無料

TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991

〈記事監修〉山梨大学 名誉教授

齋藤康彦

予防可能な子どもの死亡を減らすために

平

成30年12月に成育基本法が成立し、地方自治体が子どもの死因を調査し、必要な施策を講ずることが定められました。これを受け、県では「子どもの死亡事例検証制度」の導入に向け、医療や教育、警察などの関係者で構成する検討会を全国で初めて設置し、8月21日に第1回を開催しました。

当日は、国の取り組み状況や本県での小児の死亡状況についての説明の後、前橋赤十字病院（群馬県）小児科の溝口史剛副部長が講演を行い、予防可能な子どもの死亡を減らすために、



制度導入に向けた第1回検討会の様子

亡くなった子どもの一部ではなく全数の死因を把握する必要性があるなどと話しました。今後、検討会では関係機関の役割や課題などを協議していきます。

県内初 依存症に特化した相談窓口を開設

ア

ルコールや薬物、ギャンブルなどの依存症患者やその家族に対し適切な支援を行うことを目的として、8月1日、県立精神保健福祉センター内に依存症相談窓口を開設しました。

窓口では、電話や面接で相談を受け、専門的な医療機関や各種福祉サービス、民間支援団体の活動などの紹介を行うほか、当事者向けの回復支援プログラムや家族が正しい知識や対応方法を習得する教室を実施します。また、保健所や市町村など支援機関向けの研修会を開催し、対応力の強化も図ります。

【問い合わせ先】055(254)8644



県立精神保健福祉センターに開設された依存症相談窓口の看板

きめ細やかでより質の高い教育を目指し 「少人数教育推進検討委員会」開催

公

立小中学校における、さらなる少人数教育の推進に向け、1クラス25人を基本とする少人数教育の導入を協議する「少人数教育推進検討委員会」を8月までに2回開催しました。

検討委員会は、学識経験者や市町村教育委員会、学校関係者、保護者など15名の委員で構成され、第1回検討委員会（7月8日）においては、小



第2回検討委員会で少人数教育の効果について協議する委員

数教育の計画的、段階的導入検討のために全ての公立小中学校長を対象に行う調査の質問項目についても説明を行い、出席した委員からは多くの意見が出されました。

第2回検討委員会（8月26日）においては、文部科学省などが実施した、少人数教育の効果に関する研究結果や、幼児期から小中学校各学年における学習、生活の状況などについて協議が行われました。

今後も、数回にわたり検討委員会を開催し、本年度中に導入に関する意見をまとめ

リニア開業効果を 県内経済活性化につなげる

リニア中央新幹線の開業を契機に、県内経済を活性化させるため、民間資本の誘致やリニア駅周辺の整備に向けた指針「リニアやまなしビジョン(仮称)」を策定する検討会議を設置し、7月26日に第1回検討会議を開催しました。

出席した委員からは「誘致に向けた事業環境などの整備が必要」「ほかの交通機関との接続を強化して利便性を高めていくべき」などの意見が出されました。

今後、誘致の実現可能性や手順について具体的に検証を進め、本年度中にビジョンを策定する予定です。



第1回検討会議であいさつを行う長崎知事

耐震性や省エネルギーに配慮 新たな南都留合同庁舎完成

南都留合同庁舎は、都留文科大学の敷地拡張計画に伴い、移転整備が進められてきましたが、このたび新庁舎の工事が完了し、8月7日に竣工式を行いました。

新庁舎は、多目的トイレを1階に設置するなどユニバーサルデザインを取り入れるとともに、災害発生時には地方連絡本部が設置されることから、耐震性能を通常建築物の1.5倍程度確保しました。また、環境面でも地中熱、太陽光などの再生可能エネルギーを積極的に活用する設備を導入し、省エネルギーに配慮した建物となっています。なお、富士・東部地域の県行政の新しい拠点として、新庁舎では8月13日から業務を開始しています。



完成した新庁舎の竣工式

美しい富士山を次世代へつなぐため 「富士山登山鉄道構想検討会」理事会開催

世界遺産に登録された富士山には、その素晴らしい自然や景観を求め、国内外から多くの観光客が訪れています。一方で、観光客の増加や車からの排ガスが、富士山の自然環境に影響を及ぼしている可能性が指摘されています。

このため、県ではさまざまな分野の専門家で構成する「富士山登山鉄道構想検討会」を設置し、富士山の自然や景観を守るとともに、技術的な実現可能性、世界遺産の保存管理との整合性などについて調査・研究することとしました。

7月29日に開催された検討会の第1回理事会では、出席した理事から「安全確保を最優先の課題に位置付けてほしい」「世界遺産としての価値を損ねないよう展望をしっかりと考えるべき」「国内外の事例を勉強して視野を広げ、世界水準で議論すべき」などの意見が出されました。今後も検討を重ね、令和2年12月を目標に基本構想をまとめる予定です。



長崎知事が議長を務めた第1回理事会の様子



県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

第37回特別展 縄文文化の頂点

縄文時代、八ヶ岳を中心とした中部高地では、豊かな縄文文化が花開き、特に縄文時代中期に当たる4000～5000年前には、文化的にも社会的にも隆盛を極めました。本展では、昨年5月に日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」に認定された、中期の重要文化財を筆頭とした貴重な品々を一堂に集め、中部高地における縄文文化の到達点とその盛衰をたどります。

開催期間／10月2日(水)～11月24日(日)
観覧料／一般・大学生600円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



深鉢形土器 国重要文化財
殿林遺跡出土
(山梨県立考古博物館蔵)



朱彩台付土器 秋田県指定文化財
大湯環状列石出土
(鹿角市教育委員会蔵)

富士山世界遺産センター

富士河口湖町船津6663-1
TEL 0555-72-2314
FAX 0555-72-2337

世界遺産富士山講座

世界遺産富士山の歴史・文化・自然に関する調査や研究の成果を、新たな富士山の魅力として紹介する講座です。10月は「富士の道中歌」、11月は「芸術の源泉としての富士山」をテーマに開催します。



4月に開催した講座の様子

開催日時／10月19日(土)、11月16日(土) 午後1時30分～3時
参加料／無料

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾 5597-1
TEL 0555-72-6206
FAX 0555-72-6183

富士山科学講座

富士山の自然、自然と人との関わりについて、研究成果を分かりやすく学べる講座です。10月は「登山」、11月は「草原」をテーマに開催します。富士山に関する知識を深めたい方にお薦めです。



6月に開催した講座の様子

開催日時／10月12日(土)、11月9日(土) 午後1時30分～4時
参加料／無料

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

ハロウィーン特別上映 ドームシネマ 恐竜大行進

ハロウィーン特別企画として、通常の番組に代えて「恐竜大行進」を上映します。恐竜の仮装をして観覧した方にはプレゼントがあります。

©2010 Wide-Eyed Entertainment in association with Yap Films.
Licensed by FremantleMedia International to D&D Pictures, INC.



開催日／10月26日(土)、27日(日) ※上映時間など詳しくはホームページをご覧ください。
観覧料／大人310円、小・中学生、高校生120円(入館料別途)
幼児120円(入館無料)
※26日(土)は、高校生以下入館無料

県立図書館

甲府市北口 2-8-1
TEL 055-255-1040
FAX 055-255-1042

なかにし礼講演会&トークショー

作詩家であり、小説家のなかにし礼さんに、旧満州での戦争体験、数々のヒット曲の創作秘話、詩や小説に込めた思いなどについて語っていただきます。また、金田一館長との対談も併せて行います。



なかにし礼さん

開催日時／11月24日(日) 午後2時～4時
参加料／無料 ※事前申し込みが必要です。詳しくはお問い合わせください。

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

特別展 萩尾望都SF原画展 宇宙にあそび、異世界にはばたく

「ポーの一族」や「トーマの心臓」といった不朽の名作によって1970年代の少女漫画黄金期を築き、今年デビュー50周年を迎えた漫画家・萩尾望都。特に1975年以降は「11人いる!」「百億の昼と千億の夜」「スター・レッド」など、卓越したSF作品を生み出しました。本展は当館初の漫画展です。萩尾望都のSF作品から選出した約400点のカラーイラスト原画や、生原稿を展示しますので、ぜひご覧ください。

開催期間／～11月4日(月・振休)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



©萩尾望都/秋田書店 ©萩尾望都/小学館 11人いる! ©萩尾望都/小学館



県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

企画展 法然上人絵伝 ～親鸞が追い求めた師の姿～

浄土宗を開いた法然の生涯を描いた、当館が所蔵する国の重要文化財「法然上人絵伝」は、甲州市にある浄土真宗万福寺に伝来したもので、現存する最古級の法然上人絵伝です。本展では3年にわたる修理後、本作を初公開します。また、法然やその弟子であり浄土真宗を開いた親鸞にまつわる資料と共に、本県での浄土真宗の展開などについても紹介します。

開催期間／10月12日(土)～11月25日(月)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



法然上人絵伝(第一幅部分)
(山梨県立博物館蔵)

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

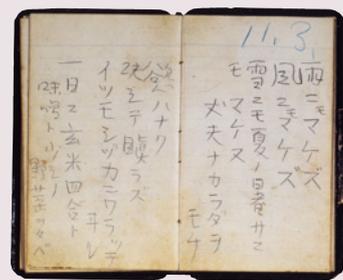
開館30周年記念企画展 宮沢賢治展 ようこそイーハトーブの世界へ

詩、童話に独自の世界を切り開き、現在も多くの愛読者を持つ宮沢賢治(1896～1933)。賢治は、作品の中で故郷岩手を「イーハトーブ」と呼び、故郷への愛着と共に、全ての生命を尊び共存を目指そうとする賢治の理想を映し出そうとしています。本展では現代に生き続ける賢治作品の魅力と、賢治の掲げた理想の世界に迫ります。

開催期間／9月21日(土)～11月24日(日)
観覧料／一般600円 大学生400円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

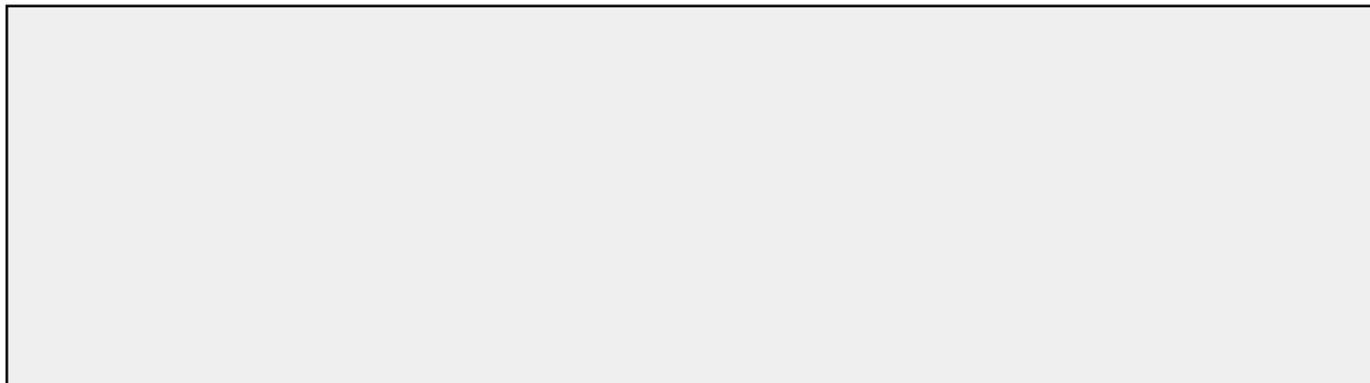


宮沢賢治(写真提供 林風舎)



雨ニモマケズ手帳(林風舎蔵)

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



ふれあい 読者プレゼント

山梨笛吹 生桃ジュレ

(「ブチ・プラム」提供)

抽選で**10名**の方に!



「美味しい甲斐開発プロジェクト」
については、ホームページを
ご覧ください。

美味しい甲斐開発

検索



夏号のアンケートに寄せられたご意見の一部を紹介! あなたが紹介したい山梨の山の魅力は?

やっぱり富士山が好き

甲府盆地から見る富士山が素晴らしい(上野原市・70代女性)。富士山と富士五湖の景色は日本一(富士吉田市・50代女性)。四季を通じて景観が変わる富士山は魅力的(富士河口湖町・70代女性)。世界遺産にも登録された富士山は山梨の自慢(甲州市・60代女性)。富士山はいつ見ても飽きない(笛吹市・70代男性)。



その他

初心者から上級者まで登山を楽しめる山が多い(甲府市・20代女性)。キノコや山菜が採れる山が多い(北杜市・60代男性)。周囲に山に囲まれているので安心感を得られる(甲斐市・30代男性)。日本で標高が高いトップ3の山が県内にある(甲斐市・70代女性)。



アンケート

問1:今号の中で最も関心を持った内容は?

問2:「山梨のフルーツ」あなたのイチオシとその理由は?

※頂いたご意見の一部は、冬号で紹介させていただきます。

応募方法

アンケートの回答と、次の①～⑥をご記入の上、はがき、電子メール、ファクスのいずれかの方法でご応募ください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢・性別 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス
(ある方)

応募先

山梨県広聴広報課「ふれあい読者プレゼント」係
はがき:〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

電子メール:koucho@pref.yamanashi.lg.jp

(件名に「ふれあいプレゼント」と入力)

ファクス:055-223-1525

締め切り

10月31日(木)(当日消印有効)

商品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。

個人情報は商品の発送のほか、県からのお知らせなどのために、使用させていただきます。

県政情報
発信中!



ホームページ



Facebook



Twitter



広報誌



広報番組

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

